

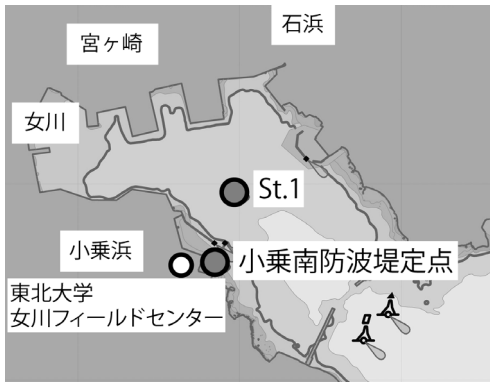
週刊 女川湾海況速報 (No.16)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

10 月 29 日から 11 月 2 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は下降傾向。鉛直的にはほぼ一様。海面冷却にともなう鉛直混合の影響と推定。塩分も先週と比較してやや下降気味。外洋水の影響が弱まったと推定。

水深 [m]	10月29日 (月)	10月30日 (火)	10月31日 (水)	11月1日 (木)	11月2日 (金)
0	18.6 (33.4)	18.6 (33.6)	18.6 (33.6)	18.6 (33.6)	18.2 (33.5)
5	18.6 (33.5)	18.6 (33.6)	18.5 (33.6)	18.5 (33.6)	18.3 (33.6)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比較して、上昇傾向。鉛直的には底層（5m）近くで高い値。経時的には 31 日まで底層近くで高い値 (> 4.7FTU) を維持。

水深 [m]	10月29日 (月)	10月30日 (火)	10月31日 (水)	11月1日 (木)	11月2日 (金)
0	2.7	2.4	3.4	2.2	2.0
5	6.4	4.7	5.1	2.9	2.8

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して、やや下降傾向。6~7mg/l 台を維持。鉛直的にはほぼ一様。経時的には 29 日、31 日、2 日に全層で比較的高い値。

水深 [m]	10月29日 (月)	10月30日 (火)	10月31日 (水)	11月1日 (木)	11月2日 (金)
0	7.1	6.8	6.9	6.8	7.2
5	6.9	6.6	6.9	6.8	7.1

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はともに鉛直的にはほぼ一様。海面冷却にともなう鉛直混合の影響と推定。濁度は 1.4~2.9FTU、鉛直的には水深とともに上昇傾向。溶存酸素は 6.7~7.4mg/l、表層（0m）で最小。

10 月 31 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	18.6	33.5	1.4	6.7
5	18.7	33.6	1.5	7.0
10	18.7	33.7	1.9	7.1
15	18.7	33.7	2.4	7.3
20	18.7	33.7	2.9	7.4

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。